行政相談委員が取り扱った相談事例の紹介

○　倒れそうな郵便ポストの補修

（相談内容）

　小学校の通学路に、土台が腐食し倒れそうな郵便ポストがあり、とても危険である。取り替えや土台の補強等何らかの対応策を講じてほしい。

（対応結果）

　行政相談委員が現地を確認したところ、申出のとおりであったため、日本郵便株式会社東海支社へ連絡し、早急な回答を求めたところ、数日後に土台支柱部分をコンクリートで補強する補修工事が行われた。

改善前

改善後

○　歩行者が見えにくい歩道橋の改善

（相談内容）

　小学校へ通学するために歩道橋を渡り終えた児童などが、通勤や通学の自転車と接触しそうで危険である。

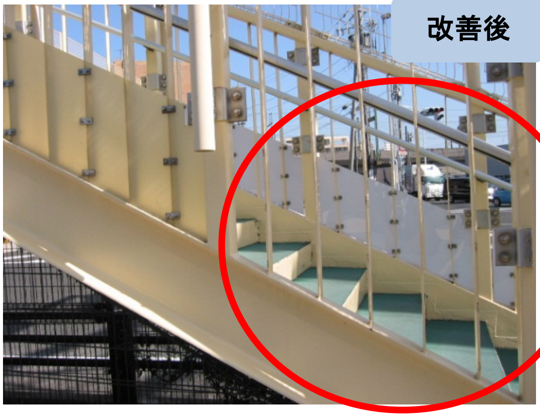
（対応結果）

　行政相談委員から連絡を受けた行政評価事務所が現地を確認し、国道事務所に連絡したところ、注意喚起の表示が行われ、また、自転車から歩道橋を渡る者が視認しやすくなるよう、目隠しパネルの一部が撤去された。

改善前

改善後

改善後



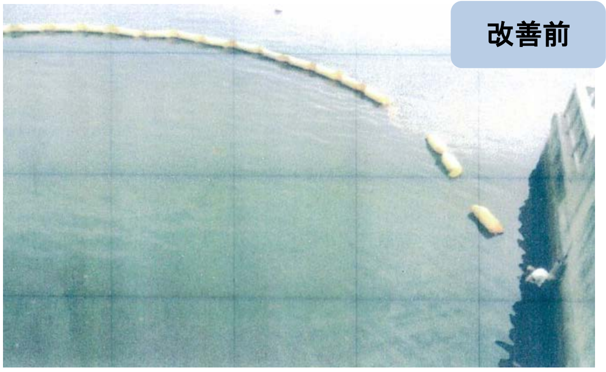
○　河川の老朽化したオイルフェンスの交換

（相談内容）

河川の河口部分に重油流出を防ぐオイルフェンスが設置されているが、フェンスが老朽化し、その役割を果たしていない。観光地としても景観上好ましくないので改善してほしい。

（対応結果）

行政相談委員が現地を確認したところ、申出のとおりであったため、市の担当課を通じ県土木事務所に連絡した結果、新しいオイルフェンスに交換された。



○　ドライバーから児童が見えにくい横断歩道の改善

（相談内容）

県道を車で走行していたところ、横断歩道付近に、照明のポールと駐車禁止などの規制標識のポールが並ぶようにして立っていたため、横断歩道を渡ろうとしている小学生を見落としそうになった。この道路はスピードが出やすく、また、小学生が毎日通る通学路となっており、横断歩道には信号機もないことから、事故につながる可能性がある。

（対応結果）

行政相談委員から連絡を受けた行政評価事務所が県警本部に連絡した結果、規制標識が既存の照明灯に付け替えられとともに、標識のポールが撤去された。またドライバーの視界を妨げている街路樹の枝についても県警と道路管理者による協議が行われ、同管理者による剪定が行われた。